

## 別表 1

## 令和5年度小城市生涯学習センター再生可能エネルギー設備等導入及び省エネ設備等改修工事設計業務に関する審査基準

## 1 評価項目と配点

評価項目	内容	審査の視点	配点
技術提案 内容	実施体制 事業スケジュール 事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施体制は、本業務を遂行できる役割を担うことのできる構成等になっていること。</li> <li>・実施可能なスケジュールになっていること。</li> <li>・スケジュールは、別途執行団体から提示されている「地域レジリエンス・脱炭素化を同時実現する公共施設への自立・分散型エネルギー設備等導入事業（2号事業）」の公募要領に合わせた内容になっていること。</li> <li>・事業実績として、過去5年以内（平成30年4月1日以降）に、環境省が実施した「二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金」に関わる「地域レジリエンス・脱炭素化を同時実現する公共施設への自立・分散型エネルギー設備等導入推進事業」又は「地域の防災・減災と低炭素化を同時実現する自立・分散型エネルギー設備等導入推進事業」を活用した業務を履行した実績があること。</li> </ul>	20点
	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平時の温室効果ガス排出抑制に加え、災害時にもエネルギー供給等の機能発揮が可能であり、災害時の事業継続性の向上に寄与する再生可能エネルギー設備等の調査の意義が示されていること。</li> <li>・本事業及び「地域レジリエンス・脱炭素化を同時実現する公共施設への自立・分散型エネルギー設備等導入推進事業（2号事業）」の趣旨を理解した内容になっていること。</li> </ul>	20点
	事業化への構想	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平時において、CO2削減に貢献する内容となっていること。</li> <li>・災害時の再エネ設備等の活用方法が明確になる基本計画となっていること。</li> <li>・今後、令和6年度に実施予定である「地域レジリエンス・脱炭素化を同時実現する公共施設への自立・分散型エネルギー設備等導入推進事業（1号事業）」が具体的に見込まれていること。</li> </ul>	20点
	概算事業費の提示	<ul style="list-style-type: none"> <li>・概算工事費が7億8,000万円を想定額とし、導入設備のシステム価格、運用コスト、メンテナンス費等に妥当性、優位性等費用対効果があること。</li> </ul>	20点
	独自提案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業がもたらす地域への貢献が高い提案がなされていること。</li> </ul>	10点
積算価格 内容	本業務に係る見積 内容・金額	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提示された価格に妥当性、優位性があること。</li> <li>・提案上限額に対する見積金額。</li> </ul>	10点
総合評価（得点の合計）			100点

## 2 評価項目の採点基準

採点は、下記に示す4段階評価による得点の付与を上記1に示す項目ごとに行い（小数点第2位を四捨五入）、各委員の合計得点を平均し（小数点第2位を四捨五入）最も高い得点の事業者を最優秀者として決定する。

ただし、基準点を65点とし、満たす事業者がない場合は選考しない。

評価点が同点となった場合は、各委員による無記名の選考投票で過半数を超えた事業者を最優秀者として決定する。1回目の投票で過半数を超える事業者がない場合は、最多投票数の事業者と次点の事業者で決選投票を行い、決定する。

提案者が1者のみの場合で、基準点を満たすときは、事業者を受託候補者として決定する。

評価	判定基準	得点化方法
A	特に優れている	各項目の配点×1.00
B	優れている	各項目の配点×0.75
C	要求水準を満たす程度である。	各項目の配点×0.50
D	要求水準を満たす難点がある。	各項目の配点×0.00